

煌

第49号

発行 令和6年8月

公益社団法人 向日市シルバー人材センター

〒617-0006 京都府向日市上植野町南開66-1 TEL.075-932-3987 FAX.075-934-8600

URL: <http://muko-sjc.com/> e-mail: muko@sjc.ne.jp



令和6年5月20日 会員表彰(令和6年度定時総会にて)

上植野町	向日町	鶏冠井町	森本町	寺戸町	物集女町
------	-----	------	-----	-----	------

中西吉徳末野平杉松松藤清今駒岡桐五佐三中坂北高柳高	村川田永元平野田田尾原水井井田村風十木宅村本尾下内瀬	益善千修武惠勝幹惇和則八重子春	子洋次代次夫美子己重子昇勝夫夫	子春三人子雄廣一	子樹一
---------------------------	----------------------------	-----------------	-----------------	----------	-----

受賞者の皆さん

新理事長就任のごあいさつ



新理事長 新矢 宗弘

この度の役員改選により、理事長に就任いたしました新矢宗弘でございます。微力ながら向日市シルバー人材センターの事業発展に努めてまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、2期4年にわたり務められた嶋田善久前理事長には、コロナ禍の中、当センターの発展にご尽力賜り、関係者一同感謝申し上げます。

さて、わが国における急速な高齢化と少子化が相まった人口減少社会の中で、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現していくためには、雇用の場における女性の活躍促進や働く意欲のある高齢者が、年齢に関わりなくその能力や経験を活かして生涯現役で活躍し続けられる社会環境が必要不可欠であります。

このような状況の中、当センターでは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の活躍の場を創出し、高齢者の「健康保持増進」「生きがいづくり」「社会参加の促進」など、地域社会の活性化に寄与することを目的に積極的な事業を展開してまいります。

また、センターの喫緊の課題である、会員数の増強と就業拡大につきましては、特に女性会員の拡大や企業退職者層への働きかけの強化に取り組んでまいります。

一方、昨年10月に施行されましたインボイス制度や今後予定されているフリーランス新法の施行など、外部環境の変化に対応するため、一層の経営努力と的確な経営判断が必要であると考えております。

このような厳しい状況を乗り越えるため、役員一丸となって事業運営に努めてまいり所存でございます。引き続き会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



定時総会報告

5月20日(月)永守重信市民会館2階第2会議室において、向日市シルバー人材センター令和6年度定時総会を、会員424名の内、出席者289名(会場出席者68名、委任状・議決権行使書提出者221名)により開催いたしました。

今年度は、昨年に引き続き、会員の皆様にご出席いただきまして、定時総会を無事に実施することが出来ました。



総会には68名の会員が参加しました



開会のあいさつをする嶋田理事長

開会にあたり、嶋田理事長は「変わりゆく社会環境に対応すべく、デジタル化の推進をはじめ、新しい視点での事業にも積極的に取り組んでまいります」とあいさつしました。

また、来賓として、安田向日市長、中島京都府山城広域振興局副局長、上田向日市議会議長、磯野京都府議会議員、長谷川京都七条公共職業安定所長にご臨席いただきました。

報告・議案事項は次のとおりです

報告第1号 令和5年度収支補正予算について
報告第2号 令和6年度事業計画について

報告第3号 令和6年度収支予算について
議案第1号 令和5年度事業報告について
議案第2号 令和5年度収支決算報告について
監査報告

議案第3号 理事長への権限委任について
以上、提案された各議案については、すべて承認されました。

なお、令和5年度の事業実績においては、「契約件数」および「契約金額」は公共事業、民間事業とも前年度を下回り、単年度収支は456万円の赤字となりました。

また、会員数は、年度末で453名と、前年度に比べ18名の増加となりました。



今年は25名の会員の皆さまが表彰を受けられました

新役員紹介

理事長	新 矢 宗 弘
副理事長	清 水 陽 一
専務理事	柴 崎 重 信
理事	植 田 進
理事	柴 田 晶 子(新任)
理事	嶋 田 善 久
理事	早 川 清 和(新任)
理事	平 林 勇 夫
理事	安 田 正 夫(新任)
監事	土 井 哲 夫
監事	日 比 野 寛(新任)

【令和6年5月20日 定時総会で選任】

退任役員

上 澤 史 郎(理事)
山 田 栄 次(理事)
安 田 孝(理事)

上澤理事は平成27年5月から5期9年、山田理事は令和2年5月から2期4年、安田理事は平成16年5月から監事及び理事として10期20年にわたり役員として務められました。在任中のご活躍とご苦労に敬意を表すとともに、これからもセンターの運営にご指導いただきますようお願い致します。

《会員表彰》 受賞者の声

長年にわたり会員として就業され、シルバー人材センターの基本理念である自主・自立・共働・共助のもと、豊かな知識と経験を活かし、センターの発展のために寄与された25名の方が受賞されました。



鶏冠井町 藤原 昇

5月の始め、家のポストに封筒が届いていました。出して見ると緑色の何時ものシルバー人材センターからでした。早速家の中で開封すると、中に手紙があり読むと、令和6年度定時総会の案内でした。内容は5月20日月曜日の13時から市民会館で開催されるとの事でした。毎回式の項目で、功労賞があり、私が会員25名の中選ばれましたので宜しく、と書いてあり「驚き」でした。毎年総会に参加させていただき、表彰式を見てきましたが、私が壇上上がるのは嫌で、苦手だなあと思っていたことが現実になり、式に切るスーツも思案し10年前に購入したスーツを試し着すると、洋服が大きくなったと思いきや、私が、小さくなったようです。

私もシルバー人材センターの会員になってから十数年過ぎましたが、一番地域とシルバーに貢献できたことは、3年前にコロナ渦の中、第3向陽小学校での消毒業務の2年間です。シルバー会員6名の仲間と共に、嫌で苦しい時も有りましたが、終わりまで携われた事が誇らしく良かったです。仲間の皆さんありがとうございます。

これからも地域で、そしてシルバーの会員として健康な限り頑張りますので、若い方たちも「物



寺戸町 五十嵐 将三

令和6年度シルバー人材センター定時総会開催に当たり永年勤続会員に選ばれ、会員表彰の榮譽を受けた事に大変感謝申し上げます。

これひとえに会員様始め、シルバー人材センタースタッフ各位の温かいご指導とご支援の賜であり、重ねて厚くお礼申し上げます。

想えば私がシルバー会員の登録をしたのは、定年退職後、従来通りの生活と健康維持を考え選びました。最初は「筆耕」のお仕事で、市政記念日に市民功労者に対し「ひわまり榮譽賞」の賞状作成でした。そして向日町競輪の選手着順の賞状等の筆耕、最近「広報配付」、年末「おたすけ隊」、通学の「交通指導」、「留守家庭児童会指導員補助員」等々の経験をし、子供を見守る先生方のご苦勞を身を以て痛感致しております。

また、嬉しく思っている事は、通学時の元気な声「おはようございます」、年末おたすけ隊の依頼者からの「ありがとう」、会員各位の「おつかれさま」の一言をいただくことで、人と人との触

れ合いや、コミュニケーションを保つことが大切であると実感している毎日です。これからも引き続き健康維持に努め、社会福祉の一助として努めさせていただきたく思っておりますので、関係者各位ご指導をよろしくお願い申し上げます。



寺戸町 桐村 正春

今般表彰をいただきありがとうございます。感謝しております。

退職後もう少しお仕事を頑張ろうと思いい、72歳の時にシルバーに入会しました。

入会早々、イオンモール桂川ができ、そこで自転車整理のお仕事をいただきました。当初は、夜の11時ごろまでお仕事があり大変だった記憶があります。しかし、そこで知り合った会員の方々と仲良くなることができ、皆で飲みに行ったりし、家庭での相談事もできるような仲になりました。とても有難いことです。

現在、保育園で園児の見守りをしており、7年ほど続けております。その中で園児の成長を見守ることができ、園児からの暖かい声掛けで心が温かくなることもあります。おかげさまで、日々楽しく過ごせております。

今後は、シルバーの仕事で健康や鋭気を養いつつ、向日市内のたばこなどのごみ拾いを通じて向日市に貢献していきたいと思えます。

またこれからも何気ない平和な日常を大事にしていきたいです。ありがとうございます。

安全・適正就業委員会

7月2日(火)に令和6年度第1回安全・適正就業委員会を開催しました。会議では、委員の委嘱状交付、正・副委員長の選出に続き、安全パトロールなど今年度の活動予定をはじめ、安全標語の選出、全国の重篤事故の発生状況について報告がありました。また、当センターの事故発生状況に基づき、職種別就業中の問題点について議論を行いました。

安全適正就業委員の紹介



(前列左から) 今村悦子、平林勇夫委員長、坂本一廣副委員長、土井哲夫
(後列左から) 永井敏行、森本里司、安田正夫、片岡法康 各委員

事故報告

令和6年1月から7月に発生した事故は以下のとおりです。

- 就業中、溝蓋を持ち上げる際にバールを使用していたところ、コンクリートの溝蓋に傷が付いた。(77歳 男性)
- 自転車にて歩道へ乗り上げる際転倒。左ひじを骨折。(71歳 男性)
- 徒歩で配布中、後方から女子高校生が運転する自転車に追突され転倒。両手首の打撲、両腕の擦過傷等。(76歳 男性)

安全・適正就業推進大会開催

7月22日(月)に京都府シルバー連合会主催の令和6年度安全・適正就業推進大会が開催されました。今大会は、安全標語の表彰式の他、講演「草刈り事故事例研究から考える安全対策」や、舞鶴市シルバー人材センターの「安全就業の取り組み」について事例発表がありました。
なお、安全標語の優秀賞に当センターの朝岡博則会員の作品が選ばれ、表彰されました。



安全標語優秀賞の表彰を受ける朝岡会員

安全標語

当センターの朝岡会員が優秀賞を受賞!

京都府シルバー人材センター連合会

▼令和6年度安全標語受賞作品▲

最優秀賞

事故防止 周囲を見渡す 余裕持つ

綾部市 藤山幸男

優秀賞

安全は 急がずあわてず 気を抜かず

向日市 朝岡博則

優秀賞

目と耳で 安全確認 復唱す

城陽市 白田修三

安全対策セミナー



保険事故のデータに基づいた説明がありました

2月22日(木)、向日市福祉会館3階大会議室にて、マーシユ総研株式会社の中尾氏をお招きし、「安全対策セミナー」を開催しました。

このセミナーは、「事故防止は気付くこと・気付かせること」をテーマに保険会社の視点から、会員の就業に伴う事故を未然に防止し、安全に就業していただけるように開催しました。19名が受講しました。

交通安全講習会

3月22日(金)向日市福祉会館において、向日町警察署より長畑巡査部長を迎えて「高齢者の交通安全について」のテーマで講習会を開催し、会員21名が受講しました。

今回の講習会では、交通安全についての講義をはじめ、DVD鑑賞を通じて、交通事故から自分を守るために注意すべきことを再認識しました。

会員の皆様は、就業場所まで自転車で移動することが多く、そのうちの67%の会員が移動中に危ないと感じたことがあると答えています。

また、令和5年4月1日から、自転車にのるときは、全ての年齢層に対するヘルメット着用が努力義務化になっております。講座のなかでも、ヘルメットの重要性についての説明もありました。当センターでは、今後も会員の皆様の交通安全意識の高揚を図り、交通安全の未然防止に努めてまいります。



DVDを見て交通安全の認識を深めました

受講者の感想

- ◆ 交通法規の変更箇所等が聞けてよかった。
- ◆ 歩行者、自転車の心得が理解できました。
- ◆ もう少し高齢者の心理の話が聞きたかった。
- ◆ 交通安全に関して再認識出来ました。

交通指導業務講習会



小学校の交通指導業務従事者を対象に開催しました

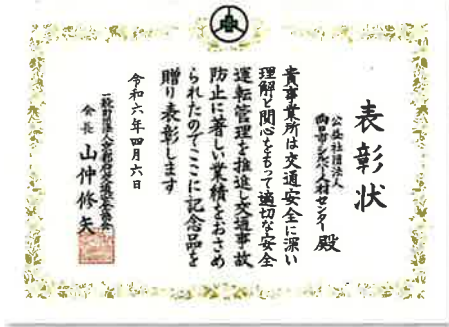
3月25日(月)、向日市福祉会館3階大会議室にて、向日町警察署の長畑巡査部長をお招きし、「交通指導業務の基本的な心構え」をテーマで講習会を開催し、会員23名が受講しました。

今回の講習会では、こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践等について学び、DVD鑑賞を通じて、交通事故から自分を守るための知識も学びました。

受講者の感想

- ◆ 子供達が飛び出しそうになる際、止める・注意することの大切さを改めて感じました。
- ◆ 中途半端は危険なこともあるので、安全第一の考え方が重要だと思いました。
- ◆ 自分の身を守ることも知り、認識する良い機会となりました。
- ◆ 過去に実践したことの発表が出来たことが良かったと思いました。
- ◆ 今までの交通指導を再確認し、今後の業務に生かしていきたいと思えます。
- ◆ 安全意識が一段と向上しました。

交通安全表彰



この度、向日町警察署より、交通指導業務等の功績により、交通安全表彰を受けました。会員の皆様方も交通安全への意識を持っていただき、交通事故防止へのご協力よろしくお願いたします。

シニアのためのパソコン活用講座

3月8日(金)、永守重信市民会館2階第3会議室にて、モリスビジネス学院の青野氏を講師に、「シニアのためのパソコン活用講座」を開催しました。

この講座は、デジタル化の急速な進展に伴い、高齢者の皆様がデジタル社会から取り残されない取り組みの一つとして、午前は市民の方、午後からは会員を対象にして実施したもので、合わせて28名が受講しました。

今回は、「今話題のAI (ChatGPTなど) を体験してみよう」というコンセプトとしてMicrosoft365のCopilot (コパイロット) の体験とWord (ワード) の基本的な操作方法を学習しました。



話題のチャットGPTを体験しました

操作が分からない時には、講師の方が、個別に隣について指導していただきました。ChatGPTは、質問を入力するだけでコンピュータが次々と回答してくれるので、皆さん夢中でトライされていました。

受講者の感想

- ◆とても充実した時間でした。
- ◆ChatGPTの体験がとても面白かったです。
- ◆ChatGPTについて知りたかったので、内容を理解できてとても良かったです。
- ◆Wordの基本操作も機能が向上しているので、それが理解できて良かったです。

●今年度も「パソコン講座」開催予定です。興味のある方は、是非ご参加ください。



シニアのためのパソコン教室
「今話題のAI (ChatGPTなど) を体験してみよう」を受講して

原 拓司



約30年前私は、今もAIのベースであるニューラルネットワークという技術を用いたシステムの開発に

携わり、AIの可能性の大きさを確信してこれに惚れ込み、一時的に仲間と共に昼夜を徹して注力

し、システム開発を成功させた。しかし私は、その後別部門に移り、退職するまでAI関心は持ちながらも、直接携わることなく退職を迎え、更に5年以上経過した。

昨今、世の中のAIへの期待が高まってきており、私は、今AIはどこまでできるようになっているのかと思っていたところに今回の講習会が企画され、参加してみることにした。

講習は、Copilot (コパイロット) というAIフリーソフトを使ってAIと対話してみるという内容であった。GoogleやYahooの検索と違い、専門家に質問するように文章で入力すると、Copilotが話し言葉で答えてくれる。驚いたのは、その的確さと速さ。講習参加当時、私は、带状疱疹にかかった後であったこと、世間でNISA (少額投資非課税制度) 熱が高まっていたことから、「带状疱疹は...?」とか「NISAは何を...?」とか聞いてみた。それぞれ、医師や証券会社の人に聞くと、長々と説明してくれるが、結局よくわからないということがよくある。しかしCopilotは、いずれも2、3秒後に簡潔且つ的確な答えを返してくれた。講習の後すぐに、私のスマホにCopilotを入れ、現在何かとお世話になっている。今や知り合いの何人かのスマホにもCopilotが住んでいる。

今回の研修で、私は各種AI、各種ロボットや自動運転などが、予想以上に早く我々の日常生活に溶け込んでいることを確信した。便利なものをうまく使いこなせば人生をより充実させエンジョイできる。もうすぐ後期高齢者だが、新しい技術、仕組みなどを積極的に学び、経験していこうと決意した。

留守家庭児童会講習会

5月31日(金)、向日市福祉会館にて、市教育委員会主催で「留守家庭児童会アルバイト向け講習会」が開催され、市民の方ら約20名が参加、当センターからも16名の会員が参加しました。

講習会では、京都府立向日が丘支援学校の中村さや香様を講師に迎え「留守家庭児童会における障がいのある児童への対応」として、発達や特性の理解、子供たちの行動を肯定的に理解することについて学びました。

当センターでは、平成21年から留守家庭児童会の指導員の補助業務を請け負っており、平成31年からは派遣業務として従事しています。

健康講座

日時 9月20日(金)
午後1時30分～2時30分
場所 向日市民体育館第1会議室
内容 「肩こり・腰痛の予防改善」
※InBodyで測定も行います

参加者募集

植木剪定講習会

6月17日から18日の2日間、講師には樹木医でありガーデンプラン設計等を手掛けられる吉田先生を迎え、向日市民体育館で「植木剪定講習会」を開催しました。

この講習会は、高齢者活躍人材確保育成事業の一環として、京都府のシルバー人材センター連合会と共同で開催したもので、市民12名と会員6名が受講しました。

講習会1日目は、簡単な講義の後「実技指導」として体育館周辺の植え込み等の剪定を実際に行いました。刈込バサミやエンジンバリカンを用い、ツツジや生垣の形を整えました。2日目は、大雨で実技ができず、「剪定作業の基礎」について講義を受け、剪定の目的、剪定の時期、枝の切り方等の知識を学びました。昼前から雨が止み、午後からは、低木剪定の実演を見学し、剪定ばさみの使い方を実習しました。



(上)座学では道具の使い方や樹木の特性を学びました
(下)実際に市民ふれあい広場の植木の手入れをしました

大雨の影響で従来の予定を変えての実習となりましたが、皆さん熱心に先生の指導を受けていました。

受講者の感想

植木剪定講習会を受講して

寺戸町 澤田 義裕



シルバーの事務所から、植木剪定講習会を受講されませんかとお声掛けいただき、以前に買った森林に関する本を少し読み返しました。本を読んで感じたので、その意識を持って講習会に望みたいと思いました。

講習を受講し、剪定に使用する道具類の使い方を学習し、作業では、実際に刃物類やヘッジトリマーを使用しました。特に電気やエンジンを動力とする機械類は、一歩間違えば周囲の人に大怪我をさせる恐れもあるため、十分に安全意識を心掛けることが大切だと思いました。

そして講習で教えていただいたポイントを意識し、家の木を早速剪定してみたところ、以前より大胆に切ることができ、良い出来栄になりました。

講習の経験を生かして、これからも安全意識を持って就業していきたいと思います。

会員の広場

夢の「85歳でフルマソン完走」を実現

上植野町 平 託治



2023年8月発行の会報「煌」に投稿した夢を実現しました。僕がマラソンを始めたのは48歳の時です。会社で中高年対象の体操教室が始まり、その体操教室に参加しました。そこで指導していた先生との出会いが、僕がマラソンを始めるきっかけとなりました。

過去には、熊本県の阿蘇カルデラマラソン100km、名古屋↓金沢の270kmを制限時間48時間で走る「さくら道ウルトラマラソン」、関西2府4県を周遊する山岳マラソンなどを完走しました。その他、ハワイホノルルマラソンや中国の西湖マラソン、香港の100km山岳マラソンなど、海外のレースに参加する機会にも恵まれ、それらの大会を完走したのも良い思い出です。

その後はコロナウイルスの猛威でちよつと外に出る事もままならない日々が続きました。そして友人との会話も「足腰が痛い」「膝が痛い」といった愚痴が多くなりました。

そこで僕は、夢を持つことを決めました。それが「85歳でのフルマソン時間内完走」です。その目標に向かい練習を始めました。



85歳でのフルマソン完走の瞬間

マラソンにエントリーしました。運よく抽選にも通りました。しかし、大会前日の天気予報では、当日は気温4℃、雪のち雨、もしくはみぞれの予報です。85歳の老人が走るには条件が悪すぎます。この大会は出場を断念しました。大阪マラソンを完走できなかった場合に備えてエントリーしておいた「なにわ淀川マラソン2024」に出場する事としました。大阪マラソンとは対照的にこのレースは気温が上がり夏日予想されるというのが前日の天気予報でした。

そこでレース当日は、前半のハーフを2時間40分という早いペースで走り、後半に十分な時間を確保する作戦を取りました。予報通り気温が上がリ、レース後半は日陰のない河川敷を走り続ける過酷なものとなりました。何とか想定した時間より早い6時間33分27秒というタイムで、次々夫妻の迎えを受けながらゴールすることが出来ました。

85歳でフルマラソンを完走したという情報を得た京都新聞の方が取材に来てくれ、地域の情報コーナーに大きく取り上げていただきました。現在は月2回、在住の向日市走友会の人達と市の名所である「竹の径」を走ったり、市のワイワイスポーツクラブで、小学生と月2回ほど走ったりしています。今の僕の夢は、米寿でフルマソン完走です。夢のある人生は、楽しいものです。

西小路一葉さんのコンサートに参加して

寺戸町 平林 勇夫



昨年シルバー人材センター定時総会でミニコンサートをしていただきました。西小路一葉さんの歌手デビュー20周年記念コンサートに、先日参加してきました。

晴天に恵まれ、数多くの西小路さんファンが参加され、日頃の活躍と同時に心より感動しました。私が作詞しました「向日ふるさと」を歌われ、西小路さん本人より、向日市についての個人的な思いを紹介され、改めてお隣の「長岡京市」と「向日市」との心の架け橋をしてくださっているんだなあと実感しました。

歌手西小路一葉さんのご健康と、益々のご活躍を願っております。



終演後、記念写真に納まる平林会員(左) 右から2番目が西小路一葉さん

追伸…
コンサートに、私の日頃から付き合ひのある友人知人が、5人も来てくださり大変喜んでいただきました。

会員の広場

私の撮っておきの一枚



「オシドリ」

寺戸町 北川 新造



「貴船川の川浴い」 上植野町 末元 修次



「さよならドクターイエロー」

森本町 津田 晃

作品コーナー



「トマト」(左)
「鮎」(下)

寺戸町 久保田 和美



「極楽に咲く花(赤)」(左)
「極楽に咲く花(白)」(下)

寺戸町 中島 清和



清

事務局だより

会員の就業相談

会員になったが就業の機会が少ない方のために、就業相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

- ❖ 日程… 毎月第3水曜日
- ❖ 時間… 午後2時～5時の間
- ❖ 場所… センター事務所

会員募集

地域で共に働く仲間を募集しています。会員の皆さまのご近所やお知り合いの方にぜひ声をかけていただき、誘ってみてください。

- 対象となる方
向日市在住の60歳以上で健康・働く意欲ある方

※入会申込みは、随時受け付けしています。
詳しくはセンター事務局までお問い合わせください。

今後の行事予定

- ◎「健康講座」 令和6年9月20日(金)
- ◎「生活支援講習会」
令和6年10月16日(水)・17日(木)
- ◎「高齢者のスマホ教室」
令和6年11月予定
- ◎「シルバーの日 ボランティア清掃」
令和6年11月予定
- ◎「会員親睦研修旅行」 令和6年11月予定

熱中症に気をつけよう!

こまめに水分を補給する!

室内でも、外出時でも、のどの渴きを感じていなくてもこまめに水分を補給



自転車ヘルメット 着用促進宣言事業所に認定されました!



向日市シルバー人材センターでは、自転車ヘルメットの着用促進に取り組んでまいります。会員の皆様のヘルメット着用をお願いいたします。

※改正道路交通法の施行により、自転車ヘルメットの着用が努力義務になりました。

Smile to Smile 始まりました!

配分金明細がスマホ等で確認できるようになりました!

これまで紙で発行していた「配分金明細書」が、お持ちのスマホやパソコンから確認出来るようになりました。また、必要に応じて自分でPDFファイルでのダウンロードが可能になります。

まだご登録いただけていない会員の方は、是非ご登録お願いいたします。



あとがき

暑中お見舞い申し上げます。連日、暑い日が続いていますが、この記録的猛暑は世界的規模で発生しており、地球の平均気温は年々上昇しているとか：

さて、東京オリンピックから3年が経ち、今まさに「パリオリンピック」が開催されています。日本選手団は409名と海外開催では過去最多だそうです。

その中で、パリ大会唯一の新競技として注目されているのが「ブレイキン」です。

ブレイキンはダンススポーツの一種で、日本ではブレイクダンスという名で知られています。

オリンピック競技のブレイキンは、一般的に「バトル」と呼ばれる形式で行われます。各バトルは1対1の対決形式で、選手は交互にダンスパフォーマンスを披露するもので、日本は男女とも金メダルが期待されている種目です。

暑い夏の夜、日本選手の活躍を期待して、熱い声援でこの夏を乗り切りたいものです。(片岡)

事務局長	柴重信
業務係長	大嶋英夫
業務係	中村幹雄
庶務係	木下恵美子
	上田法津子